

第4節 地産地消プロジェクト

森林・農業地域と市街地のお互いの良さを活かした連携を図り、農林業の活性化・振興を図っています。また地産地消の仕組みをよみがえらせ、生産者と消費者の顔が見える関係を目指します。

【奈良市環境基本計画（改訂版）の関連指標】

指標			平成26年度	平成27年度	目標値 (平成33年度)	担当
市民ふれあい交流事業 (ミニ直売所)(箇所)			6	6	10	農林課
進捗率	波及効果	効率性	推進会議のコメント			
1	3	2	地産地消の市民の意識・必要度は格段に向上しており、安全安心・運輸エネルギーの削減にもつながり更なる取組が重要である。また、ミニ直売所増加に伴う農産物の供給を維持出来る体制について、具体化に向け検討して、地域活性化とともに、運輸部門の温室効果ガス削減に期待する。			
単年度 達成率	総合評価					
3	B					
指標			平成26年度	平成27年度	目標値 (平成33年度)	担当
農業地域と市街地との 交流参加者数(人)			89	92	100	都祁行政 センター 地域振興課
進捗率	波及効果	効率性	推進会議のコメント			
4	4	3	農業体験を通して農業や農地に愛着を感じてもらうのは、食育の観点からも重要な取組である。地産地消の促進にも寄与し、農村部における農業体験や交流イベント等は若者の農村回帰にもつながり、今後も継続して地域活性化も含めた積極的な取組に期待する。			
単年度 達成率	総合評価					
5	A					
指標			平成26年度	平成27年度	目標値 (平成33年度)	担当
奈良県産学校給食食材 地産地消率(%)			36.07	38.03	50	保健給食課
進捗率	波及効果	効率性	推進会議のコメント			
1	4	3	米穀を奈良市産に切り替えることができたことが大きな成果であったと思う。食の安全安心の関心は益々増加しており、特に学校給食への地産地消食材採用は積極的に進めるべきである。食育を推進するためにも、地元食材の使用をすすめることを期待する。			
単年度 達成率	総合評価					
5	A					

【実施事業】

1 月ヶ瀬、都祁地域と都市部との連携

月ヶ瀬、都祁地域と都市部とのふれあいの場として、月ヶ瀬では地域団体が茶摘み体験、こんにゃく作り体験、餅つき大会などを行っており、都祁では都祁まちづくり協議会が農業体験交流事業（田植え、ブルーベリー採り、稲刈り、収穫祭）を行っています。

2 市民ふれあい交流事業

【ミニ直売所】

地場産の新鮮で安心・安全な農産物の消費を促進するとともに、生産者と消費者のふれあい交流を推進するため、平成27年度は、鳥見、富雄、赤膚、左京、済美南及び白毫寺の6箇所においてミニ直売所を実施しました。



【彩マーケット】

平成 23 年度から毎年秋に市役所前広場にて開催している市場で、奈良市産の新鮮で安心・安全な野菜や加工品などを生産者自ら販売していただくことで、都市住民と農村住民のふれあい交流を図るとともに、地産地消の推進を図っています。



【ふれあい交流ファーム】

農村地域において農業従事者からの耕作指導を受けながら農作物を育てる実体験を通して市民間のふれあいを深める場を「ふれあい交流ファーム」として提供しています。



3 学校における地場産農産物の利用

食育の観点から、子どもたちに生産者に対する感謝と食の大切さを学んでもらうとともに、地場産農産物の地域での消費を促進するため、学校給食への奈良県産食材利用を推進しています。平成27年度の奈良県産学校給食食材地産地消率は、38.03%となり、徐々に増加していますが、安全安心の観点からも地元産食材の需要が伸びる中、まとまった量の食材確保がさらに困難な状況となっています。